

帝人ファーマと業務提携！うつ病向けデジタル治療 VR を共同開発へ

株式会社ジョリーグッド(東京都中央区、代表取締役：上路健介、以下 ジョリーグッド)は、帝人ファーマ株式会社(東京都千代田区、社長：渡辺 一郎 以下 帝人ファーマ)とVRを用いたうつ病向けのデジタルセラピューティクス(以下 うつ病向けVRDTx)の共同開発契約を締結いたしました。今後、両社はうつ病向けVRDTxの薬事承認を目指し、共同で開発を推進していきます。



■本契約に至った経緯

今回の提携は、2020年12月に帝人ファーマが実施した、在宅医療分野の公募型事業共創プログラムにおいて、ジョリーグッドが「Home Healthcare Award」を受賞したことが契機となっています。この際、ジョリーグッドが推進する「精神疾患を対象にした認知行動療法 VR の開発」というテーマについて、両社の強みや事業領域を踏まえて具体的な検討を進めた結果、ジョリーグッドのVR技術と帝人ファーマが持つ知見や技術を組み合わせることにより、医療者をサポートし、患者さんのQOL (Quality Of Life) 向上への貢献ができると両社で合意したため、今回の共同開発契約に至りました。

今後、ジョリーグッドと帝人ファーマはうつ病向けVRDTxの薬事承認を目指し、システムおよびコンテンツの開発や治験を共同で推進していきます。

■認知行動療法について

認知行動療法(以下 CBT)は、ものの考え方や受け取り方など認知のあり方が、気分や行動に影響を与えることから、患者さんと医療者との対話の中で認知の偏りを修正し、問題解決を手助けする精神療法で、薬物療法以外の選択肢のひとつとして用いられています。

今回、共同開発するうつ病向け VRDTx は、CBT における医療者と患者さんとの対話に VR を組み合わせることで、感情喚起や認知の偏りを修正するサポートし、治療効果を高めるとともに、医療者と患者さんの負担を低減することを目指します。

■ DTx 事業部とは (<https://vrmtx.com>)

ジョリーグッドは、今年 4 月から精神科医や薬事戦略の専門家をはじめ、障害者向けトレーニング VR に精通した事業開発プロデューサーらを統合したデジタル治療開発の専門チーム「DTx 事業部」を設立し、VR を用いたデジタルセラピューティクス「VRDTx」のシステム基盤を開発しています。

DTx 事業部では、この VRDTx のシステム基盤をベースとして複数の精神疾患や生活習慣病にパイプラインを拡大し、国内外でデジタル治療事業を展開していきます。

■ 株式会社ジョリーグッドについて (<https://jollygood.co.jp/>)

ジョリーグッドは、高精度なVRソリューションと、VR空間のユーザー行動を解析するAIによる医療福祉向けサービスを開発するメディカルテクノロジーカンパニーです。VRやAIなどのテクノロジーにより、医療教育、障害者支援、精神疾患治療など、人の成長や社会復帰を加速し、医療の進化や人の生きがいを支えるサービスを様々な研究機関や企業の皆様と共に展開しています。

■ 帝人ファーマ株式会社について (<https://www.teijin-pharma.co.jp/>)

帝人グループは、あらゆる年齢の人々の健康的で快適な生活を支える製品・サービスを提供することとしており、革新的な治療法の創出をめざしています。そのヘルスケア事業の中核を担う帝人ファーマは、これまで主軸としてきた医薬品事業および在宅医療事業に加えて、2019 年より精神疾患の一つであるうつ病に対する rTMS（反復経頭蓋磁気刺激）装置「Neurostar」を展開し、患者さんの QOL 向上に取り組んでいます。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社ジョリーグッド 広報担当 小嶋 info@jollygood.co.jp TEL : 03-4455-2694

以上